

令和4年度 予算施策評価表

様式1

施策名	水資源対策の推進				予算施策コード	db05	
担当部局名	土木部	河川港湾局	河川課	評価責任者	水資源・ダム政策監 近藤 孝利	連絡先	4356

1 施策の内容

施策の目標	節水型社会の構築、既存水源の有効活用等、限りある水資源の安定的確保・有効活用を図る。
-------	--

これまでの取組み	<p>本県では、急峻な地形により降雨がすぐに海へ流出してしまうなど、水資源の確保が大きな課題であったため、恒常的な水の確保に向け、これまで多目的ダムを中心とした水資源開発を推進してきたものの、ダム建設の適地の減少や環境問題などから、新たなダム建設を巡る状況は厳しくなっている。</p> <p>一方で、上水道を中心とする水需要は、人口の減少や節水への県民意識の高まりにより近年は低下傾向にあるが、近年、年ごとに豪雨や渇水を繰り返すようになっていることから、将来にわたり水を安心して利用できる暮らしを確保するためには、既存の水資源の有効活用、水源の保全、節水型社会の形成などを総合的に行うことが必要である。</p> <p>このため、地域の水需給の現状と動向を把握し、総合的な水資源施策を推進するために必要な基礎的なデータを収集するとともに、水利用実態の変化などに対応した水利用の調整や、水源地域における地域振興に資する事業を実施している。</p>
----------	---

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	渇水による上水道・簡易水道の断水回数				B						
選択理由	渇水による生活用水の断水は、県民の生活に大きな影響を与えるため。				選択理由						
算定方法	渇水時に上水道・簡易水道が断水しなかった市町数/県内市町数				算定方法						
成果と指標の関係	強	指標の種類 (ストック/フロー)	フロー	指標の種類 (プラス/マイナス)	+	成果と指標の関係		指標の種類 (ストック/フロー)		指標の種類 (プラス/マイナス)	

指標・事業費・人件費の推移												
区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費 (決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	市町		%	%		%	千円					
2年度	20	20	100.0%			-	275	275			18	677
3年度	20	20	100.0%			-	274	274			18	605
4年度	20	20	100.0%			-	274	274			19	598

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	水は人類の生活になくてはならないものであり、県民生活の安全・安心に密接に関わるため、水資源対策の推進は、市町の範囲を超えて広域的な観点による調整や対応が必要となることから、県の関与の必要性が高い。								
高い											
成果指標A		説明	近年で渇水による断水が発生したのは平成21年度に1町のみであり、以降は発生していないため、成果動向は横這いである。渇水時においては初期段階から需給調整に県が関与することにより断水を回避することができるため、成果指標の達成率をある程度向上させることができる。								
成果動向	横這い										
成果向上余地	成果向上が可能										
成果指標B		説明									
成果動向											
成果向上余地											
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.00	順調・向上			成果向上余地	1.00	成果向上は余り望めない			

